

貸 借 対 照 表

(2024年 3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(89,496)	(負債の部)	(33,119)
<u>流動資産</u>	72,201	<u>流動負債</u>	19,406
現金及び預金	53,558	未払金	118
前払費用	1,527	未払法人税等	205
未収金	17,115	未払消費税等	6,121
立替金	1	未払費用	3,962
		預り金	1,408
		賞与引当金	7,591
<u>固定資産</u>	17,295	<u>固定負債</u>	13,713
有形固定資産	1,450	退職給付引当金	13,713
工具・器具・備品	1,450		
無形固定資産	324		
電話施設利用権	324	(純資産の部)	(56,377)
投資その他の資産	15,520	株主資本	56,377
投資有価証券	13,500	資本金	10,000
繰延税金資産	2,020	資本剰余金	50,000
		資本準備金	50,000
		利益剰余金	△ 3,622
		その他の利益剰余金	△ 3,622
		繰越利益剰余金	△ 3,622
資 産 合 計	89,496	負債純資産合計	89,496

(注) 1. 千円未満は切り捨てて表示しております。

2. 当期純利益 1,764千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価の方法

① 有価証券

関係会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

② たな卸資産（貯蔵品）

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、翌期支給見込額のうち、当期の計算期間に対応する金額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。

2. 収益及び費用の計上基準

(1) セキュリティ事業部

ホテル建物内外の監視及び誘導の運営を受託しており、受託期間に対応する受託料を収益として計上しております。

(2) アスレックス事業部

スポーツ施設の経営並びに研究開発、体育指導員の養成や派遣等の運営を受託しており、受託期間に対応する受託料を収益として計上しております。

3. 貸借対照表に関する注記

関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債務

126千円

4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

該当事項はありません。

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式

10千株

6. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり当期純利益

176,48円